

授 業 概 要

No.1

授業のタイトル (科目名) 現代社会と福祉		授業の種類 (講義)・演習・実習		授業担当者 木村 彰裕	
回数 30回	時間数 (単位数) 60時間	配当学年・時期 1年 通年		必修 ・ 選択	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>将来、国内外の多様なフィールドにおいて、Well-being (ウェルビーイング) の実現・向上を図る社会福祉士となるために、ソーシャルワークの専門的な学びの根幹として社会福祉・福祉政策の理論や理念、歴史に関する基本的内容とその今日的な展開、動向、課題について事実や現状を理解することに加え、現状に対する批判的視点をもつことを意識しながら基礎教養を身につける。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>「社会福祉の原理 (その意味と展開)」、「社会福祉の歴史」、「社会福祉の思想・哲学・理論」、「社会問題と社会構造」、「福祉政策の基本的な視点」、「福祉政策におけるニーズと資源」について学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の原理 (その意味と展開) について説明できる。 2. 社会福祉の歴史について説明できる。 3. 社会福祉の思想・哲学・理論について説明できる。 4. 社会問題と社会構造について説明できる。 5. 福祉政策の基本的な視点について説明できる。 6. 福祉政策におけるニーズと資源について説明できる。 					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (シラバス、国家試験の傾向) 2. 社会福祉の歴史を学ぶ視点 3. 欧米の社会福祉の歴史的展開 4. 日本の社会福祉の歴史的展開 5. 社会福祉の思想・哲学 6. 社会福祉の理論 7. 社会福祉の論点 8. 社会福祉の対象とニーズ 9. 現代における社会問題① 10. 現代における社会問題② 11. 社会問題の構造的背景 12. 福祉政策とは何か 13. 福祉政策において重要な概念・理念 14. ニーズ (必要) 15. 資源 (リソース) <p>前期末試験</p>					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>最新・社会福祉士養成講座 「社会福祉の原理と政策」中央法規出版 社会福祉小六法 2021</p>			<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする</p>		

授 業 概 要

No.2

授業のタイトル (科目名) 現代社会と福祉		授業の種類 (講義)・演習・実習		授業担当者 木村 彰裕	
回数 30回	時間数 (単位数) 60時間	配当学年・時期 1年 通年		<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	
[授業の目的・ねらい] 将来、国内外の多様なフィールドにおいて、Well-being (ウェルビーイング) の実現・向上を図る社会福祉士となるために、ソーシャルワークの専門的な学びの根幹として社会福祉・福祉政策の理論や理念、歴史に関する基本的内容とその今日的な展開、動向、課題について事実や現状を理解することに加え、現状に対する批判的視点をもつことを意識しながら基礎教養を身につける。					
[授業全体の内容の概要] 「福祉政策の構成要素と過程」、「福祉政策の動向と課題」、「福祉政策と関連施策」、「福祉サービスの供給と利用の過程」、「福祉政策の国際比較」、「これからの社会福祉 (出発点・到達点・展望)」について学ぶ。					
[授業修了時の達成課題 (到達目標)] 7. 福祉政策の構成要素と過程について説明できる。 8. 福祉政策の動向と課題について説明できる。 9. 福祉政策と関連施策について説明できる。 10. 福祉サービスの供給と利用の過程について説明できる。 11. 福祉政策の国際比較について説明できる。 12. これからの社会福祉 (出発点・到達点・展望) について説明できる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 16. 福祉政策の構成要素 17. 福祉政策の過程と評価 18. 福祉政策と包括的支援の現状 19. 福祉政策と包括的支援の課題 20. 保健医療政策 21. 教育政策 22. 住宅政策 23. 労働政策 24. 災害政策 25. 福祉供給部門 26. 福祉供給過程 27. 福祉利用過程 28. 国試比較の視点と方法 29. 福祉政策の動向 (欧米・東アジア) 30. 福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題 後期末試験					
[使用テキスト・参考文献] 最新・社会福祉士養成講座 「社会福祉の原理と政策」中央法規出版 社会福祉小六法 2021			[単位認定の方法及び基準] 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		

現代社会と福祉 出題基準

大項目	中項目	小項目（例示）
1 現代社会における福祉制度と福祉政策	1) 福祉制度の概念と理念	
	2) 福祉政策の概念と理念	
	3) 福祉制度と福祉政策の関係	
	4) 福祉政策と政治の関係	
	5) 福祉政策の主体と対象	
2 福祉の原理をめぐる理論と哲学	1) 福祉の原理をめぐる理論	
	2) 福祉の原理をめぐる哲学と倫理	
3 福祉制度の発達過程	1) 前近代社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・救貧法、慈善事業、博愛事業、相互扶助 ・その他
	2) 産業社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険・社会保障の発達、福祉国家の成立 ・慈善救済事業、社会事業の発達 ・その他
	3) 現代社会と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の生活困窮と福祉、経済成長と福祉 ・新自由主義、ポスト産業社会、グローバル化、リスク社会、福祉多元主義 ・その他
4 福祉政策におけるニーズと資源	1) 需要とニーズの概念	<ul style="list-style-type: none"> ・需要の定義、ニーズの定義 ・その他
	2) 資源の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の定義 ・その他
5 福祉政策の課題	1) 福祉政策と社会問題	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困、孤独、失業、要援護（児童、高齢、障害、寡婦）、偏見と差別、ソーシャルエクスクルージョン（社会的排除）、ヴァルネラビリティ、リスク ・その他
	2) 福祉政策の現代的課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）、社会連帯、セーフティネット ・その他
	3) 福祉政策の課題と国際比較（国際動向を含む。）	

6 福祉政策の構成要素	1) 福祉政策の論点	<ul style="list-style-type: none"> ・効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、自己選択とパートナーリズム、参加とエンパワメント、ジェンダー、福祉政策の視座 ・その他
	2) 福祉政策における政府の役割	
	3) 福祉政策における市場の役割	
	4) 福祉政策における国民の役割	
	5) 福祉政策の手法と政策決定過程と政策評価	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉政策の方法・手段
7 福祉政策と関連政策	6) 福祉供給部門	<ul style="list-style-type: none"> ・政府部門、民間（営利・非営利）部門、ボランティア部門、インフォーマル部門 ・その他
	7) 福祉供給過程	<ul style="list-style-type: none"> ・公私（民）関係、再分配、割当、行財政、計画 ・その他
	8) 福祉利用過程	<ul style="list-style-type: none"> ・スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ ・その他
8 相談援助活動と福祉政策の関係	1) 福祉政策と教育政策	
	2) 福祉政策と住宅政策	
	3) 福祉政策と労働政策	
	1) 福祉供給の政策過程と実施過程	